

地中点滴灌水でネギの収量アップ

全農とっとり 園芸資材課

◎地中点滴灌水

点滴灌水とは等間隔に吐水孔をもうけたチューブを用いて灌水をする技術。チューブを地中に埋設することで、水や養分の利用効率がさらに向上する。

全農開発のキットを使用すれば、部品選定の必要なく比較的簡単に設置できる。

ネギ栽培における地中点滴灌水のメリット

- ・夏の高温乾燥期に灌水することで、**生育促進や収量増が望める**
- ・スプリンクラーと比較して均一に灌水でき、**水の利用効率が高い**
- ・葉濡れや土の跳ね返りがなく、**病害の発生が少ない**
- ・肥料成分の流亡が少なく、**肥料の利用効率が良くなる**

◎地中点滴灌水の設置イメージ

①準備

制御部を組み立て、水源と接続する

②設置

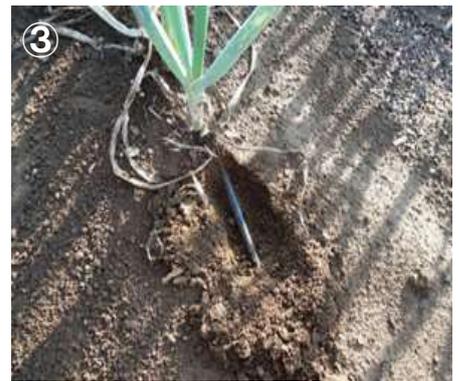
ネギ定植後、チューブを株元に設置し、自動タイマーで灌水時間等を設定する

③栽培管理

生育中は通常の栽培管理。土寄せ時にチューブを埋めるようにする。

④収穫

収穫前にチューブを引っ張りあげて回収し、ネギを収穫する。



※写真はイメージです。

◎試験事例

平成 27 年に鳥取県倉吉市内で試験を実施(7 月設置～10 月調査)

灌水時間:7、10 月(AM7:00～1 時間)、8、9 月(AM5:00～2 時間)

試験区	収量 (kg/a)	規格別数量割合(%)			
		2L	L	M	S
灌水区	6,680	2	52	44	2
無灌水区	5,230		33	60	7

お問い合わせは全農とっとり園芸資材課(TEL:0857-28-9425)まで